

新聞の醍醐味

取締役 環境事業部長 兼 化学品安全事業部長、海外事業推進室 兼 愛媛事業所担当
高橋 尚裕



東日本大震災にて亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、ご関係の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。現場では物心両面からのサポートが求められています。衣・食・住から医・職・育まで幅広い支援が必要です。故郷再生に向けて、自分にできることを実践したいと思えます。

さて、インターネットの普及により、ありとあらゆる情報を入手できるようになりました。これにより時間も距離も短くなりました。良い情報も悪い情報も、信頼できる情報も裏付けのない情報もあふれています。ここで重要になるのは、不要な情報を捨てる判断力です。

学生時代、親元から離れて住んでいました。その頃両親から、新聞はどんなことがあっても購読するよう厳しく奨けられました。時を経て、今では新聞ならではの醍醐味を味わっています。仕事柄、外国人と接する機会が多くありますが、異口同音に、インターネットでは人が拠って立つ基盤を築くこと

ができないのではないかとということで共通認識に達します。

新聞は考える材料を広範囲に拾い集める良い手段です。大きな絵を仕上げるのに必要な材料を集めるような気持ちで、熟読するのが面白いと思います。インターネットでは情報が膨大になり過ぎ、見逃してしまうことや、何が重要なのか分からなくなり、錯覚に陥ることがあります。これに対して新聞では限られた紙面で掲載されるため、情報は取捨選択されています。その情報量は、自らが指向していない範囲にまで広がることから、ある意味では、特定情報の検索に用いられるインターネットより多いとも言えます。

歴史を振り返れば、絵画と写真も重なる時代がありました。写真が登場したとき、画家の中には絶望した人もいました。その後、絵は写真と同様である必要はないという考えが生まれ、絵画の世界にそれまでとは違う傾向が出てきました。いまでは、絵画と写真の住み分けができています。また、歴史的に静止画の次に動画が来たこともあって、動画のほうが上位だと思われる向きもありました。ところが、これらは本来別物で、動かないからこそしみじみと味わえ

ることがあります。

新聞は固有の力を保ちながら、時流に即した新しい力を発揮していくことが求められています。しかし、何かを追いかけていないでじっと見ていると、インターネットではなく、新聞であればこそ力が発揮できるものがあります。インドはかつて工業化に失敗しました。工業といえるような工業の発達を見ないまま現代に至りました。工業化の波に乗らなかつたために、ソフト産業の時流に乗ることができませんでした。工業化していた国のほうが遅れをとっています。新聞とインターネットでも同様です。インターネットがあるポイントに達したところで、新聞のコンセプトが使えることに気づく時代が来ると思えます。

新聞には身体と接しているという感覚があります。偶然見つけた情報の断片を通して、通り一遍のことでも、テレビ画面の向こう側より自分に近いところにあるという感覚が味わえます。新聞の「におい」です。

製造業も非製造業も、広義ではサービス産業です。サービスを提供しない産業は無いからです。サービスのあり方を考えるとき、産官学のあらゆる分野で、新聞が有する機能を応用展開できると考えています。

<品質システム登録、認定、適合リスト>

- ISO9001品質マネジメントシステム：
千葉事業所、筑波事業所、大阪事業所、愛媛事業所、大分事業所
- ISO14001環境マネジメントシステム：
千葉地区（千葉事業所等）、大分事業所、愛媛地区（愛媛事業所等）
- ISO/IEC17025試験所認定（各特定試験項目）：
千葉事業所、愛媛事業所、SCAS SINGAPORE PTE LTD、住化分析技術（上海）有限公司
- 医薬品GMP（評価A）：ファーマ大阪事業所
- 農業GMP（適合）：大阪事業所・愛媛事業所
- 特定計量証明事業者（MLAP：大気・水・土壌中のダイオキシン類）：
愛媛事業所

編 集 後 記

SCAS NEWS 2011-II号をお届けいたします。今回は、医薬をテーマとして、巻頭言に、京都大学医学研究科 薬剤疫学、川上浩司教授から「医薬品研究開発とイノベーション評価をとりまく諸課題」と題して、今後の医薬品研究開発におけるレギュラトリーサイエンスの動向、ヘルステクノロジーアセスメント、先制治療の3つのキーワードについて示唆に富む提言を賜りました。また、ノバルティス ファーマ株式会社 オンコロジー早期臨床開発部 都賀雅香グループ

マネージャー様には「創薬・開発イノベーションのためのバイオマーカ-の有効性」と題して、医薬品開発の現場からバイオマーカ-についてその有用性や最新の話や技術についてご紹介をいただきました。その他、関連テーマの技術報告、SCAS NOW、トピックス、法律ウォッチャー等もご紹介させていただきました。今後も、お客様のご期待に応えられるよう当社の最新分析技術情報を提供してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願ひ申し上げます。

編集・発行 株式会社住化分析センター 発行日 2011.8.29 2011-II（通巻34号）
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-17 TEL06-6202-1807 FAX06-6202-0116
ホームページ <http://www.scas.co.jp>
SCAS NEWS に関するお問合せ・ご連絡 e-mail:scasnews@scas.co.jp

はアインシュタインの疑問符です、彼のあくなき好奇心と探求心こそが、
宇宙真理発見の原動力だったのかも知れません。

SCAS Sumika Chemical
Analysis Service

東京営業所	TEL 03-5689-1211	大阪事業所	TEL 06-6466-5247
大阪営業所	TEL 06-6202-1000	筑波事業所	TEL 029-864-4741
名古屋営業所	TEL 052-952-8969	医薬事業本部 ファーマ大阪事業所	TEL 06-6466-6426
医薬事業本部 営業部(東京)	TEL 03-5689-1217	医薬事業本部 ファーマ大分事業所	TEL 097-523-1964
医薬事業本部 営業部(大阪)	TEL 06-6202-1801	医薬事業本部 バイオ技術センター	TEL 06-6466-5251
千葉営業部・千葉事業所	TEL 0438-64-2281	技術開発センター	TEL 0438-63-6176
岡山営業部	TEL 086-477-8103	腕エンバイロ・ソリューション	TEL 03-5689-1220
愛媛営業部・愛媛事業所	TEL 0897-32-3411	SCAS SINGAPORE PTE LTD	TEL 65-6899-3819
大分営業部・大分事業所	TEL 097-523-1181	住化分析技術（上海）有限公司	TEL 86-21-5677-8181
福岡営業部	TEL 092-737-5303	SCAS Europe S.A./N.V.	TEL 32-2-719-0475
広島営業部	TEL 082-555-8441	SCAS-BTT(バイオアナリティクス)	TEL 82-43-210-7730